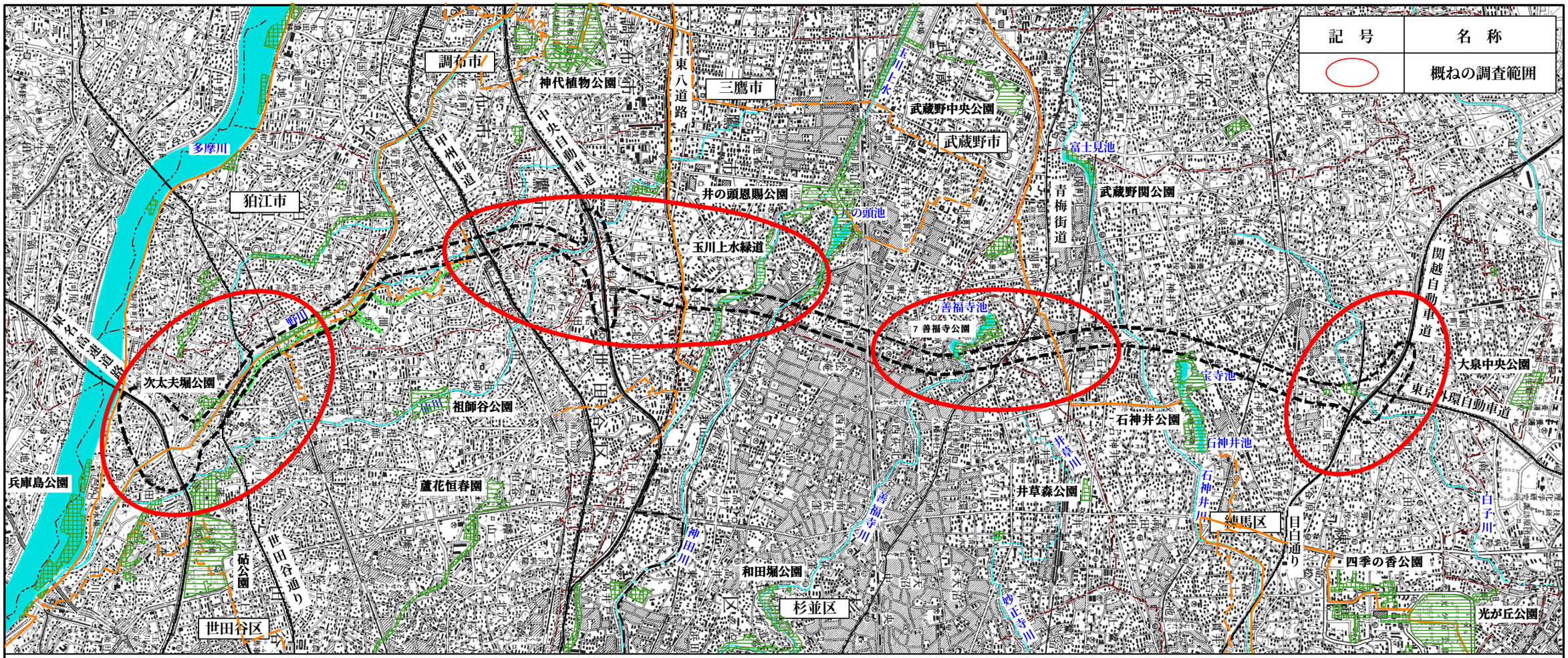
環境の現地調査地域［人と自然との触れ合いの活動の場］



凡　例

：河川/池沼

：崖線

■調査内容

① 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布：主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、面積・延長等について調査する予定です。

② 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況：主要な人と自然との触れ合い活動の場の利用時期、交通機関、施設等の収容人数等について調査したいと考えています。また、施設等がどのように使われているか調査する予定です。

③ 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用環境の状況：主要な人と自然との触れ合い活動の場にある自然環境、景観等の特性について調査する予定です。

■調査範囲の考え方

ジャンクション及びインターチェンジの可能性のある東名周辺、中央道周辺、青梅街道周辺、関越道周辺において、野外レクリエーション施設の利用状況に変化が生じる可能性がある範囲を対象に調査を実施する予定です。

資料：「観光レクリエーションの手引き　平成９年度版」
（平成 10 年３月　東京都生活文化局）
「東京都の公園緑地マップ 2002」
（平成 14 年３月　東京都建設局）

1:50,000

0　1　2(km)

「本書に掲載した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の５万分の１地形図を複製したものである。（承認番号　平 15 関複、第 400 号）」